

特集「女性会・教会の今」* 東教区女性会会報「シャロンの花だより」100号から今後へ*

アンケートから見えてきたもの…今、そしてこれから 神庭靖子* 飯田教会

2021年4月、今期役員会はコロナ禍の中発足し、「女性会・教会の今」を知るためのアンケートをもって活動を開始しました。これに対し、多くの方々にご回答いただき、シャロンの花だより第99号に結果を掲載しました。2022年6月、第3回会長会&女性の集い(以下集い)では、アンケートの振り返りをもとに、皆様の生の声をお聞きしました。

この度本会報は100号を迎え101号へと繋ぐ、90余年にわたる歴史を振り返りつつ、本稿では、アンケート結果・集いから見えてきた「今」と「これから」を考察したいと思います。

アンケートからわかったことは、①回答者の70%以上が60代以上であり、高齢化が進んでいることでした。年齢分布は70代が最多で、40代以下は7.5%と60代以上の10分の1という偏りがあります。アンケート結果を考察する際、この偏りを考慮しなければなりません。

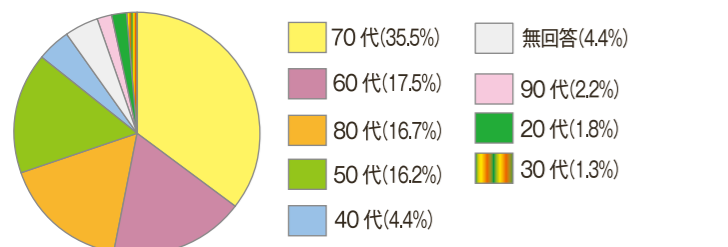
回答者の女性会活動への思い②は、ポジティブな回答(有意義である、参加したい)と、ネガティブな回答(男女をわける必要があるのか、意味がない、楽しくない)が半々でした。しかし、回答者の年齢分布を考えると、中高年者でも女性会活動について課題を感じていることが窺えました。女性会の名称についても、「現状でよい」とのポジティブな回答が過半数の一方、ネガティブな回答(変更を望む、信徒会がよい、時代錯誤)もあり、やはり中高年者でも「女性会」という名称に疑問を感じている方が少なくないと考えられました。

会費③についても、「妥当」とのポジティブな回答が過半数でしたが、ネガティブな回答の中では、「高い」との回答が「安い」との回答の2倍ほどありました。高齢となり年金生活の中で会費を払うことの大変さが窺えました。

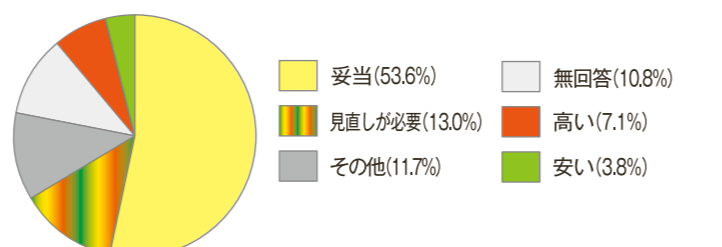
集いでは、高齢化(若い頃のように活動できない)、会費の高さ(複数の献金で手一杯)、役員を出すことの困難(若い世代が入会せず会員数が減少し出たくても出せない、当番制が負担)などが、休会教会の年々の増加につながるなどの意見が出されました。

一方、コロナ禍で活動を休止していたけれどやっと動き出しつつある、といったポジティブな現況もお聞きできました。各教会に集まりZoom参加された皆様からは、ご高齢でありながらも和気あいあいとして明るく雰囲気が画面越しに伝わってきました。コロナ禍の影響の大きさと共に、そうした困難に揺らがない長い歴史の重みを感じました。

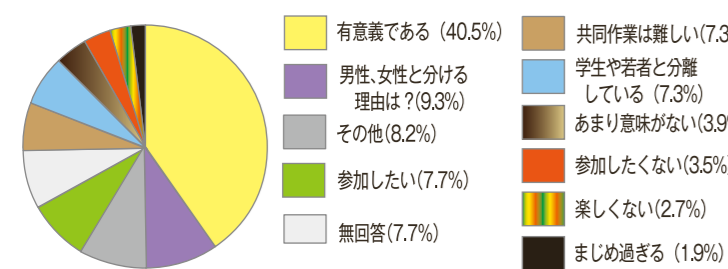
以上の事から見えてきたことは、高齢化、会員数減少の問題が加速度的に深刻化しているということでした。多くの教会では、女性教会員数の方が多いにもかかわらず、代議員は男性が多いというのが現状です。女性会が受け継いできたよき伝統を生かしつつ、高齢化の現実に向き合うためには、男女差を見直し、働くことがあたりまえである若い世代にとって魅力があり無理なく参加できる活動の工夫が必要なのではないかと思えます。そのことへの示唆を与えてくれているのが、すでに男女の区別なく信徒としての活動をしている教会の取り組みだと思えます。今回見えてきた東教区女性会の課題は広く、連盟、教区、本教会とも連携し考えてゆくことが必要な課題とも言えるでしょう。しかし、まずは、若い世代の声を聞きつつ、弱者への奉仕から始まったルーテル教会の宣教の精神に私たち自身が立ち返り、現在の女性会のあり方を考えてゆく必要があると思いました。



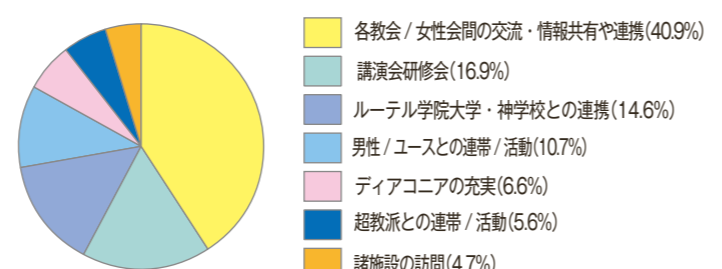
① 2. 年代(差し支え無ければ) (総数 228)



③ 6. 会費 (総数 239)



② 4. 東教区女性会の活動は (総数 259)



④ 10. 今期3年間で取り組むべきこと、ご希望など(総数 301)

<休会教会へのアンケート回答集計>

【回答教会】13教会中10教会より回答あり(回答率77%)

▶本郷、小岩、甲府、板橋、保谷、長野、仙台、小田原、津田沼、小石川 教会

【記入者】①牧師8名(本郷、小岩、甲府、板橋、長野、仙台、津田沼、小石川)、②女性会会長1名(保谷)、③その他1名(役職教会会計(小田原))

1. 貴教会の信徒活動についてお尋ねします。活動しているものに○をお付けください。

①2信徒会(本郷、津田沼)、②3女性会(保谷、長野、小石川)、③1壮年会(保谷)、④1学生・青年会(保谷) 無記載(小岩、甲府、板橋、仙台、小田原)

婦人会の他、ろう者会、大志会。関心ある活動に性別、年齢に関わらず参加している状況。(小石川)

2. 活動内容を具体的(簡単に結構です)に教えていただけますか。

●無記載(仙台)●コロナ禍で、活動休止中ですが、以前は食事会などを開催。(本郷)●2020年度よりどれも行ってない(小岩)●信徒会、女性会、青年会いずれもありません。高齢化の影響が大です。(甲府)●毎週の礼拝を行いZoomでも参加を募っています。出席者は集会と配信含め15名程です。教会員は高齢者が多く、奉仕者が少ない状況です。(板橋)

●コロナ禍以前は昼食の交わり後に連盟の聖書研究テキストを用いて、壮年会、青年会と合同で聖書の学びの時を持ち、その後、女性会例会を開いていました。コロナ禍により礼拝や諸集会が休止された期間▶女性会も集えない中でも何とか工夫して誕生カードの寄せ書きだけは続けました。礼拝再開後▶続くコロナ禍で昼食の交わり・聖書の学びは休止状態で、毎月第3日曜礼拝後に活動制限の中、短時間で女性会例会を持ち、報告や協議事項も少なく、年間60名の他住

会員、求道者を含む女性会員へ誕生カードの寄せ書きをお送りする活動を継続しています。連盟と東教区女性会の会報は継続購読中です。(保谷)●女性会連盟発行の冊子を用いた聖書研究会(長野)●現在、各集会を開催できない状態です。「ちょっと無理して、礼拝に出席しよう」を目標に、頑張っています。(小田原)●信徒牧会者育成トレーニングを月に1度(津田沼)●聖書研究(小石川)

3. 女性会連盟/東教区女性会の休会理由をお知らせください。複数回答可

①教会員の減少(甲府、長野、小田原)②新規女性会入会希望者の減少(甲府、長野、小田原、小石川)③役員(教区女性会役員会)を出すことができない(小岩、甲府、保谷、長野、小石川)④会費が払えない⑤活動に賛同できない⑥その他:自由記載へ(本郷、小岩、板橋、仙台、小田原、津田沼)

●以前教会女性会で決定された経緯はわかりません。(本郷)●世話人を担う方、興味を持ち関わる方がおりません。(板橋)●聞いておらず不明です(仙台)・①中心会員の就職、夫の病氣看護 ②新女性会員へ、女性会への説明不足、関心が薄いこと③②に記載の通り、礼拝出席を第一目標にあがいて？

います。(小田原)●理由を聞いていません(津田沼)

4. 今後復帰したいご希望はありますか。

①ある(0)②ない(5)(本郷、板橋、仙台、津田沼、小石川)③どちらもいえない(5)(小岩、甲府、保谷、長野、小田原) *復帰をご希望される場合のポイントは何ですか？

①役員候補を出さなくてもよければ(1)(保谷) ②(0)役員会・行事の出席方法が柔軟なら(ZOOM可など) ③(0)会費が引き下げられれば

④その他 ※自由記載へ(本郷、長野)

●無記載(甲府、仙台)●女性会活動をしておらず、復帰は難しいと思います。(本郷)●少人数でも意欲があれば復帰したい。(小岩)●会員数が少なく、高齢化もあり、働きを担えない。復帰を希望する以前に、教会の維持・存続に精一杯なため(長野)●教会行事もご参加が難しい人が多くなってきています。まず来会され礼拝の喜びを味わっていただきたい。(小田原)

5. 東教区女性会についてご意見・ご希望などございましたら、ご自由にお書きください。

●無記載(小岩、板橋、仙台)●現代は、女性が女性会として活動するよりは、各教会で女性が役員になられたり、代議員になられたりして、活躍される時代だと思えます。(本郷)●現状では、女性会の復帰は難しいと思われま。 (甲府)●女性会登録会員は20名ほど、毎月の例会に出席できるのは5-6名に限定され、自身の健康上の問題、家族の介護、パソコン操作等の課題により、先般は教区女性会への役員候補を送り出せず、今後も状況の好転は困難と考え止む無く休会を決断。ただ、今後の女性会連盟・東教区女性会へは様々な意見があり、以下に記します。

①変化しつつある社会情勢を考え、女性に特化した会の意義はどこにあるか。これからは、性別や年齢を超えた奉仕活動や集会や委員会へと変わっていくのではないか。

②今この時代に、女性たちが集まり、このような組織の維持には意義があるとも考えるが、その意義が明確にされていない。女性たちにキリスト者としてエールを送る働きを、積極的に担ってゆけるのではないか。(保谷)●このようにヒ

アリングを重ねることは大事なことだと感じています。教会の根本的な部分からの今の会員の状況に合わせた働きの整理・新設等の時期が来ているように感じています。このアンケートの意味を含め、是非推し進めていただきたいと思

います。お働きに感謝いたします。(長野)●どの教会も大変な時に申し訳ございません。地元の信徒が少なく、皆さん時間が取れず、古い信徒のミスでしたが、新しい信徒に対しての思いやりが少なかったかと反省しています。女性会も若

年会員が関心を持つ企画も必要かと、個人的には思います。(小田原)●お働きありがとうございます。今の時代、性別、世代を越える働きが必要と考えます。(津田沼)

③②に記載の通り、礼拝出席を第一目標にあがいて？